

しらゆきひめ
白雪姫と (第1幕)
しちにん こ
7人の小びと

☆おはなし☆

ある国のお城に、雪のように肌の白い美しい娘が生まれ、「白雪姫」と名付けられて、すくすく成長しました。しかし、白雪姫のお母さんが亡くなり、やがて新しいお后（継母）が迎えられました。白雪姫の美しさに嫉妬したお后は、狩人を呼び白雪姫の命を奪う様に命令したのですが、心優しい狩人は白雪姫を森へと逃がしてあげました。

深い森に逃げ込んだ白雪姫は、7人の小びと

たちの住む小さなお家を見つけました。7人の小びとたちは白雪姫の身の上に同情し、一緒に暮らすことになりました。

さて、それからある日のこと、お后が魔法の鏡にたずねます。「鏡よ鏡、この世で一番美しいのは誰だい」「森の奥で暮らす白雪姫です」と鏡は答えました。白雪姫が活着ていることを知って怒ったお后は、りんご売りに変装し、白雪姫の暮らす7人の小びとの家へと向かうのでした。

このお話の続きは、舞台を見てのお楽しみ！



(第2幕)

ヘンゼルとグレーテル

.....おはなし.....

貧しい家の子ども、ヘンゼルとグレーテルが留守番をしていて、だいじなクリームを食べてしまいました。2人はお母さんに叱られ、森に夕食のためのイチゴを取りに行くように言われます。

森で、イチゴを摘みながら遊んでいるうちに暗くなり、帰る道がわからなくなりました。その時、いつのまにか霧がたちこめて、

眠りの精が2人を安らかな眠りに誘います。舞いおりてきた天使たちが、2人の周りを美しく踊ります。

朝になり、2人が目覚めると、突然雷が鳴り響き、森の中にお菓子の家が現れました。お菓子の家を食べはじめた2人の前に、お菓子の魔女が現れて…さあ、それから……。



劇団 銀河鉄道

本部：〒113-0033

東京都文京区本郷1-25-25-202

Tel. 03-5684-3320

劇団 銀河鉄道は……「未来に旅立つ子どもたちに、豊かでしなやかな心を育むお話を運びます」

1979年創立。なるべく説明をはぶき、子どもに発見させる、“発見こそ子どもの感動につながる”を理念に創意工夫された舞台と楽器の生演奏など常に「質の高いぬ

いぐるみ劇の確立」をめざしています。現在、全国の大ホールを中心に年間300日550ステージほどの公演を続けています。

これまでの主な作品

★東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞

「まえがみ太郎」
「日本むかしばなし つるのおんがえし」

★厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財

「まえがみ太郎」

★厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財

「ちびっこ太郎」
「ちびっこカムのぼうけん」
「日本むかしばなし つるのおんがえし・なしとり兄弟」
「ヘンゼルとグレーテル」
「おおかみと7ひきのこやぎ」